

地元4カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008年6月16日（月）18:00～	泊村堀株地区集会所

[意見・要望]

- ・ 国の審査を受けてやることなので大丈夫と思う。
- ・ 発電所に一番近い地域なのでとにかく事故の無いように。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 16 日（月）18:00～	共和町小沢生活改善センター

Q．ヨーロッパでの原子力回帰について。

A．フランスのようにサイクルを進める国もあれば、直接処分する国もあります。イタリアが原子力施設の建設に着手するとの報道があったと聞いています。

Q．不審火はその後どうなっているのか。

A．出入監視強化、ライター持込禁止などの対策の結果、その後不審火は発生していません。再発防止に努め皆さまの不安解消に努めたいと考えています。

Q．非常用ディーゼル発電機の停止について。

A．非常用ディーゼル発電機は点検時に上手く動かなかったため、発電所を止めて点検しました。定期検査も行っており、予防保全に取り組んでいます。

Q．耐震安全性について。

A．新しい耐震設計審査指針に照らし最新のデータを用いチェックしています。3号機は本年9月に、1、2号機については11月に結果報告を行う予定です。

Q．高レベル放射性廃棄物最終処分の現状について。

A．六ヶ所で何十年か（30年～50年）冷却した後に地層処分します。現在、調査地点の応募に向けてNUMO（原子力発電環境整備機構）が公募活動をしています。

[意見・要望]

- ・ 安全については北電にまかせる。
- ・ 少資源国として当然進めていくべき。
- ・ ミニ集会での説明は非常に良いこと。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 17 日（火）18:00～	渋井地区集会所

Q．3号機が完成間近の今になって3号機でやるというのは疑問。

A．平成9年にプルサーマル計画を公表した時点および3号機建設の申し入れをさせていただいた時点ではどの号機で実施するかは決まっていませんでした。3号機建設工事着工後、運転開始に見通しがついたことから本格的に検討を進め、国内外の状況を踏まえ3号機で実施する計画を立てました。

Q．1・2号機ではMOX燃料を使用できないのか。

A．技術的には可能です。

Q．MOX燃料の安全性、製造過程に問題はないのか。

A．MOX燃料は放射線量が高いため、防護措置を取りながら取り扱います。また、作り方はウラン燃料と同じで、ペレットにして、金属性の管に入れ集合体にします。

Q．MOX燃料も再処理するのか。

A．技術的には可能です。日本ではこれから検討していきます。

Q．電気料金は高くないのか。

A．原子力発電コストの1%程度に影響があると考えています。

なお、電気料金は火力、原子力、水力などの発電コストやその他の費用、経営環境などを総合的に勘案し決めるものです。

[意見・要望]

- ・ 説明を聞いても分からず不安だが北電の姿勢は理解。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 17 日（火）18:00～	岩内町岩内地方文化センター2F

Q．使用済MOX燃料のピットでの保管能力について

A．3号機の使用済燃料ピットは1，445体で、1/3炉心ずつ交換していくとすれば30年程度の容量があります。

地元4カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008年6月18日（水） 18:00～	泊村臼別地区集会所

Q．MOX燃料とウラン燃料の放射線量の違いについて。

A．ウラン燃料が0.04mSv/hであるのに対し、MOX燃料は11mSv/h。MOX燃料受入時には専用取扱設備により取り扱います。

Q．国内ではあまり実績がない中で、なぜこの時期にプルサーマルを実施するのか。

A．海外の実績や国の検討結果から、泊3号機において安全にプルサーマルを実施できると判断しています。資源の有効利用、プルトニウムの計画的利用が目的であり、着実に進めていきたいと考えています。

Q．他電力に先駆けて実施するのか。

A．九州電力・玄海3号機、四国電力・伊方3号機などでは、地元同意、国の許可を得て、燃料製造過程にあるところもあります。当社では、まずは事前協議の申入れをさせていただいたところであり、これから広く理解活動を行い、皆様のご理解を得ていきたいと考えています。

Q．不審火はその後どうなっているのか。

A．出入監視強化、ライター持込禁止などの対策の結果、その後不審火は発生していません。再発防止に努め皆さまの不安解消に努めたいと考えています。

Q．サイクル交付金に関する自治体の姿勢は？

A．各自治体のお考えは承知していませんが、今年度中の同意を条件として国から北海道へ交付され、地域振興のために使われるものと認識しています。

[意見・要望]

- ・ 安全性を強調しすぎて本当は危ないのではとの印象。
- ・ 今日の説明はわかりやすく理解できた。
- ・ 信頼関係醸成の努力を継続願いたい。
- ・ 丁寧に資料ができており納得できる部分もあった。
- ・ 質問集は分かりやすく良かったので各住民に配布しては？

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 18 日（水） 18:00～	梨野舞納地区住民センター

Q．有識者会議の検討結果はどう扱われるのか？

A．各自治体が判断するにあたってその検討結果が踏まえられると思われま

Q．有識者会議のメンバーについて慎重派も入れるべき。

A．北海道は推進派、慎重派という観点で選考しているものではないと説明しています。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 19 日（木） 18:00～	岩内地方文化センター

Q . 原子炉容器、格納容器、外部遮へい壁の厚さは。

A . 原子炉容器は 13cm～25cm、原子炉格納容器は 23mm～45mm、外部遮へい壁は約 1m です。

Q . 1～3号機において1炉心あたりのウラン重量は。

A . 1,2号機は各 48.5t、3号機は 74t です。

[意見・要望]

- ・ これまで危険な事故はなかったが、今後も安全、安心な発電所の運転を継続して欲しい。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 23 日（月） 18:00～	泊村茅沼地区集会所

Q . 国内での MOX 燃料使用実績は。

A . 1986 年～1991 年まで合計 6 体を 3 年間使用した実績があり、使用後に詳細な調査を行い、安全性が確認されています。

Q . 報道では日本のプルサーマル計画は海外でも実績が無く「机上の計算」という記載もあったが。

A . 国内外の実績のほか、実験室や研究炉などでのデータを取得した上で国が安全性を確認しています。

Q . MOX 燃料を処理した場合の高レベル放射性廃棄物は増えるのか。半減期の長いものが増えたりするのではないか。

A . 高レベル放射性廃棄物の量は、再処理した場合、使用済燃料を直接処分した場合に比べて体積は 1/3～1/4 に低減します。また、廃棄物に含まれる核種の成分割合は変わるかもしれませんが、新たなものが発生することはありません。

[意見・要望]

- ・ 実績は値の低いものばかり。同じ程度か高いものを出さなければ不安にもなる。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 23 日（月） 18:00～	岩内町老人福祉センター

Q．国内で作る MOX 燃料と海外で作る MOX 燃料とどちらが割高なのか。

A．加工契約をしていないのでなんとも言えませんが、海外分は輸送コストがかかるため割高になることも想定されます。

Q．どうしてプルサーマルをしなければならないのか。今のままではだめなのか。

A．ウラン資源の有効利用、プルトニウムの計画的利用、国の原子力政策との適合などの理由により、プルサーマルを実施していくことが必要と考えています。

Q．お金をかけてまで実施することなのか。

A．プルサーマルの実施によりウラン資源の節約になります。プルサーマルはウラン燃料の再利用です。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 24 日（火） 18:00～	泊村泊地区集会所

Q．高レベル放射性廃棄物処分の状況はどうなっているのか。

A．ガラス固化した上で、地中深くに埋設処分する計画です。処分地はまだ決まっておりませんが、国も力を入れているところです。

[意見・要望]

- ・ プルサーマルは世界でも実施されていて、技術的には大丈夫だと思う。安全面に気を付けて欲しい。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 25 日（水） 18:00～	泊村盃地区集会所

Q．高レベル放射性廃棄物は泊村に来ないのか。

A．高レベル放射性廃棄物はガラス固化した上で、地中深くに埋設処分する計画で、NUMO（原子力発電環境整備機構）が進めており、候補地を探している状況です。

Q．使用済 MOX 燃料はどうなるのか。

A．使用済 MOX 燃料も再処理して利用するのが国の方針で、今後検討されることになりましたが、搬出までの間、当面は泊発電所にて保管いたします。

Q．欧米でプルサーマルを中止している理由はコストか。

A．各国のエネルギー事情、政策や政治情勢などによるものです。なお、危険という理由で中止した国はありません。

Q．プルサーマルにより電気料金が上がることがないようにしてほしい。

A．プルサーマルは原子力発電コストの 1%程度に影響があると考えています。電気料金は火力、原子力、水力などの発電コストやその他の費用、経営環境などを総合的に勘案し決めるものです。今後も低廉で安定した電気をお届けできるよう努力していきます。

Q．万が一の避難道路について事業者の立場で北海道に何か言えないのか。

A．発電所周辺の防災対策については北海道や自治体で検討されており、道も力を入れていると承知しています。当社としては、核燃料税を今後 5 年間で 60 億円以上支払う予定ですが、北海道には「地元のためになることに使って欲しい」と要望しております。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 25 日（水） 18:00～	岩内町人材開発センター

Q．新潟県中越沖地震を踏まえているとのことだが、現在実施している耐震安全性評価とは、どういう内容か。

A．現在、改定された新しい耐震設計審査指針に照らし泊発電所周辺の活断層の再評価を実施して、必要なものは取り入れながら評価を行っています。

地元 4 力町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 26 日（木） 18:00～	泊村照岸・糸泊地区集会所

Q．MOX 燃料の使用で被災範囲が広がるのか。

A．万が一を想定した事故解析の結果、事故の影響は現在とほとんど変わらないと想定しています。

Q．新聞では「会社に利点が無い」と記載されているにも関わらずなぜやるのか。

A．エネルギー自給率が低く資源が乏しいわが国においては、ウランを再処理し準国産エネルギーとして活用することが重要です。

Q．MOX 燃料の使用により世界の注目を浴び、発電所にミサイルが打ち込まれたらどうするのか。

A．MOX 燃料の使用により危険性が変わるものではありません。ミサイルなどは電力会社の範疇を超えた国家防衛上の問題と考えています。

Q．MOX 燃料の使用により電気料金への影響は。

A．プルサーマルは原子力発電コストの 1%程度に影響があると考えています。電気料金は火力、原子力、水力などの発電コストやその他の費用、経営環境などを総合的に勘案し決めるものです。今後も低廉で安定した電気をお届けできるよう努力していきます。

Q．近海にはプレートが走っているが、地震などで想定以上のものが起きた場合はどうするのか。

A．現在、改定された新しい耐震設計審査指針に照らし泊発電所周辺の活断層の再評価を実施して、必要なものは取り入れながら評価を行っています。なお、発電所はある一定の揺れ（280 ガル）を検知すると自動的に停止するようになっています。

Q．発電所の津波に対する対策はどうなっているのか。

A．発電所敷地の高さは海拔 10m であり、水をかぶる心配はありません。

Q . 世界では MOX 燃料の使用に積極的でないように感じるが、何が問題になっているのか。

A . プルサーマルを実施するか、しないかは各国のエネルギー事情や政治情勢によります。
一般的に資源が豊富な国では再処理を選択しませんが、日本のように自国資源の乏しい国はプルサーマルを推進する傾向にあります。

Q . MOX 燃料の使用体数はなぜ 40 体以上にしないのか。

A . 泊発電所から発生する使用済燃料を再処理して得られるプルトニウムは、MOX 燃料に加工しても 40 体程度で使い切れる量です。

Q . 高レベル放射性廃棄物の保管についてはどうなっているのか。

A . 高レベル放射性廃棄物はガラス固化した上で、地中深くに埋設処分する計画で、NUMO（原子力発電環境整備機構）が進めています。

[意見・要望]

- ・ プルサーマルの必要性は理解した。安全性を強調し、早く村民や町村の理解を得て欲しい。
- ・ 泊発電所は後進の発電所。プルサーマルについても他電力に先行してもらい、進めてはどうか。
- ・ 広報活動はもっとやるべき。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 26 日（木） 18:00～	共和町国富地区住民センター

Q．泊 3 号機ではパツプ・セフイーの考え方が取り入れられているのか。

A．PWR は制御棒が上から挿入されるので、重力を利用することができます。また、原子炉には固有の自己制御性があり、あるレベルになると自然と核分裂を抑えるような特性を持っています。

Q．泊発電所で PWR（加圧水型軽水炉）を選んだ理由は。

A．発電所の保守性、さらに経営判断なども含めて総合的に判断し、PWR を選択したものです。

Q．ウラン資源 1～2 割の節約効果はたいした量ではないのではないか。

A．捉え方にもよりますが、限られた資源を有効に利用するという観点からプルサーマルを進めていきたいと考えています。将来的には高速増殖炉サイクルも含めてウランの利用効率はさらに向上していくものと考えており、プルサーマルはこれを見据えた足がかりとして位置づけられています。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 6 月 30 日（月） 18:00～	神恵内村珊内集会所

Q．MOX 燃料は国産のものを使うのか。

A．当面は海外に搬出済みの使用済燃料を加工して使います。

Q．使用済MOX燃料はどうするのか。

A．使用済MOX燃料も再処理して利用するのが国の方針で、今後検討されることになりましたが、搬出までの間、当面は泊発電所に保管いたします。

Q．高レベル放射性廃棄物の処分形態は。

A．高レベル放射性廃棄物はガラス固化した上で、地中深くに埋設処分する計画で、NUMO（原子力発電環境整備機構）が進めています。

使用済MOX燃料を再処理した場合には、再処理しない場合に比べて、放射性廃棄物の体積を 1/3～1/4 程度に削減することができます。

[意見・要望]

- ・万が一事故が起きたときの通信回線の充実について北電も努力して欲しい。
- ・温暖化を考えた場合、将来原子力が増えていくことは当然だと思う。子供たちのためにエネルギーを残していくことが必要。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 7 月 1 日（火） 18:00～	共和町西部住民センター

Q．プルサーマルをやることで電気代は高くなるのか。

A．プルサーマルが原子力発電コストに与える影響は 1%程度であり、またその他の石炭や石油も含めた燃料費全体に占めるウラン燃料の割合は 1 割以下であることから、プルサーマルの実施は発電コストには大きく影響しないと考えています。

Q．欧米でプルサーマルを中止した理由は何か。

A．プルサーマルを実施するか、しないかは各国のエネルギー事情や政治情勢によります。一般的に資源が豊富な国では再処理を選択しませんが、日本のように自国資源の乏しい国はプルサーマルを推進する傾向にあります。

Q．原子力発電所へのミサイル攻撃が心配。

A．ミサイルに関しては国家防衛上の問題ですが、発電所の警備については事業者としてなすべきことにしっかり取り組んでまいります。

Q．なぜプルサーマルを受け入れた自治体に交付金が出るのか。

A．核燃料サイクル交付金を含めたいわゆる電源三法交付金は国の制度であり、発電所の立地・運転の円滑化への寄与を目的として交付されるものです。発電所の建設・運転に伴う利益を地元へ還元するという性格を有しています。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 7 月 1 日（火） 18:00～	岩内町島野地区集会所

[意見・要望]

- ・ 今後も過失などないように安全に操業して欲しい。
- ・ 安全運転はもとより地元との共存共栄に協力して欲しい。
- ・ 企業誘致の一環として LNG 発電所を岩内に建設して欲しい。

地元4カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008年7月2日（火） 18:00～	共和町発足克雪管理センター

Q．避難道路の整備について新聞報道があったが、地域住民の安全確保を前提に整備されるべきなので、北電としても働きかけをしてほしい。

A．避難道路整備にあたっては必要性、費用対効果などを踏まえ、それぞれ国、道、町村が検討するものと認識しています。事業者としては地元の状況を踏まえ、電力業界団体などを通じ、国などへもお願いしているところです。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 7 月 2 日（水） 18:00～	岩内町敷島内集会所

Q．過去に積丹沖地震があったが、その震源地は評価に含まれているのか。

A．震源には活断層の影響によるものとそうでないものがあるため、一概には言えませんが、発電所の耐震評価は、直下型地震なども十分考慮したうえで実施しています。

Q．現在、使用済燃料はどこかへ搬出しているのか。

A．年に一回程度青森県六ヶ所村へ搬出しています。

Q．MOX 燃料工場は国内にあるのか。

A．青森県六ヶ所村に建設する予定で、現在、国の安全審査中です。

Q．一番早く MOX 燃料を使用するのはどこの電力会社か。

A．九州電力が先行していると思われます。

Q．電気料金は安くなるのか。

A．一般にリサイクルにはコストがかかります。MOX 燃料は若干割高になることも考えられますが、発電コスト全体に与える影響は小さいと考えています。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 7 月 3 日（木） 18:00～	神恵内村漁村センター

Q . MOX 燃料は危険なのではないか。

A . MOX 燃料は、新燃料の放射線量が大きい、中性子を吸収しやすく制御棒やほう素の効きが低下する、溶融点が低下するなどの特性がありますが、それぞれ特性に応じた対策を講じることで安全性を確保します。

Q . プルトニウムの半減期（放射能が半分になるまでの期間）はどの程度か。何億年かかるとも聞か
が。

A . プルトニウムの半減期は約 2 万 4 千年です。

Q . チェルノブイリ発電所のように、万一、爆発した場合はどうなるのか。

A . 泊発電所には原子炉格納容器があり、また発電所のタイプも異なるので、同じような事故が起こるとは考えていません。

Q . 原子力防災訓練ではどのような事故を想定しているのか。

A . 原子力防災訓練では安全上の機器が動かず、炉心がある程度の損傷を受け、原子炉から放射性物質がわずかに放出するものの、原子炉容器等は機能している状態を想定しています。

Q . 事故で被ばくがあった場合、北電ではどのような対策をとるのか。

A . 原子力の防災については、国、道、町村、事業者も含めた防災計画が決められており、共和町にあるオフサイトセンターが拠点となり応急対策が行われます。例えばヨウ素が放出された場合は、住民を避難させることや、ヨウ素剤を飲むなど、専門家を含めた中で対策が考えられます。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 7 月 14 日（月） 18:00～	神恵内村川白ふれあいセンター

Q . 使用済 MOX 燃料は再処理して使用できるのか。

A . 使用済 MOX 燃料も再処理して利用するのが国の方針で、今後検討されることになりませんが、搬出までの間、当面は泊発電所で保管します。

Q . 制御性に問題がないのであれば全炉心 MOX 燃料にしたらどうか。

A . 当社の保有する使用済燃料の量から考えると、MOX 燃料の使用割合は 3 号機の 1/4 以下で十分です。

Q . ウラン燃料と MOX 燃料の違いは

A . MOX 燃料にはプルトニウムが最初から含まれていること、放射線量や発熱量が大きくなること、制御棒やほう素の効きが低下することなどが挙げられます。

Q . 安全性が心配。危険性が高まることなどへの不安が拭いきれません。

A . MOX 燃料は放射線量が大きくなる、制御棒の効きが低下するなどの特性があります。これらの特性を十分把握し、特性に応じた対策をとることで、安全上の余裕を確保いたします。

Q . 温排水が温暖化に寄与しているのではないか。

A . 温暖化の要因は二酸化炭素などの温室効果ガスによる影響が大きいと考えており、その意味で原子力は発電時に二酸化炭素を排出しないため、地球温暖化防止に大きく寄与すると考えています。

Q . 将来的に太陽光発電へシフトしてはどうか。

A . 太陽光発電は、現在のところ安定供給の面で課題があり、供給力として多くを依存することが出来ない状況です。

Q . 京極発電所の状況は

A . 京極発電所は泊 3 号機以降の大型電源として現在建設工事が進められています

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 7 月 15 日（火） 18:00～	岩内町宮園会館

Q．近隣町村がこの計画に反対した場合はどうなるのか。

A．了解をいただけない場合は、プルサーマルが実施できないこととなります。まずは地元の皆さまのご了解をいただけるよう努力してまいります。

Q．現時点でプルサーマルが進んでいない原因は何か。

A．平成 9 年より電力各社が 2010 年までにプルサーマルを実施するべく取り組んで参りましたが、先行していた関西電力では海外で製造された MOX 燃料にデータ改ざんが発覚し、また東京電力では自主点検記録の不正が発覚するなど、いずれも計画が滞っていました。しかしながら、近年、各社の努力が結実し、実施に向け着実に計画が進められています。

Q．今後道内で原子力発電所の建設計画はあるのか。また、泊 4 号機の計画はあるのか。

A．現時点において新たな原子力発電所の建設計画はありません。

地元 4 カ町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）地区別説明会

日時	場所
2008 年 7 月 16 日（水） 18:00～	神恵内村赤石集会所

Q . MOX 燃料はどこで製造するのか。

A . 当面は海外に搬出済みの使用済燃料を加工して使います。国内の MOX 燃料工場は青森県六ヶ所村で平成 24 年に操業を開始する予定です。